



GE、東京電力・横浜火力発電所にて、ガスタービン 8 基の機種交換施策を実施 性能向上とライフサイクルコスト削減に貢献

【東京 2015 年 9 月 1 日】GE の発電機器サービス（パワー・ジェネレーション・サービス）事業部門は本日、日本最大の電力会社、東京電力株式会社、横浜火力発電所に設置された既存のガスタービンに対する機種交換施策を発表しました。

横浜火力発電所では GE パワー・ジェネレーション・サービス事業として過去最大規模となる、8 基のガスタービン機種変更（9FA.01 モデルから 9FA.03 モデルに更新）を実施し、1 基あたりで約 7%以上の出力増（2 万 7 千キロワットの出力増）、およびプラント効率を 1%ポイント以上向上させます。この結果、1 基あたりでは年間約 10 億円の燃料費の大幅削減効果が期待できます。また二酸化炭素排出量も同様に 1 基あたり約 3 万トンの削減を試算しています。

この横浜火力発電所における既設ガスタービンの機種変更には、ガスタービン一式、燃焼器システム、制御装置が含まれ、各ガスタービン機種変更の際に現地でユニットごとの組立てを実施します。すでに同発電所 7 号系列では 2015 年 3 月から工事が開始され、初号機は 7 月 31 日に工事が完了しました。

東京電力は 2012 年後半に、画期的なソリューションを広く募ることを目的として「ビジネス・アライアンス提案」を広く募集しました。GE はこの募集を受け、性能向上とライフサイクルコスト削減に効果的な既存設備の性能向上施策という投資対効果に優れたソリューションを提案しました。

GE パワー&ウォーター 堀江渉 北アジア電力事業本部長は、以下のように述べています。「既設ユニットの性能向上を目指し、従来から継続的に投資をし、開発に取り組んできた GE 独自の保守サービスプログラムを東京電力様にご評価いただいたことを嬉しく思います。これからも、GE は微力ながら、お客様が取り組んでいる燃料費用を含めたコスト削減に貢献してまいりたいと思います。」

GE について

GE は創造力あふれる方法で世界をより良くする企業です。GE はハードウェアとソフトウェアを融合することで、お客様とともに電力供給や運輸、インフラ構築や医療、金融に関わるソリューションを提供し、こうした産業に新たな時代を生み出します。日本における GE の活動については、<http://www.ge.com/jp/> をご覧ください。

GE パワー&ウォーターについて

GE パワー&ウォーターは国や地域ごとの課題を解決する、幅広い発電設備や水処理技術をお客様に提供しています。パワー & ウォーターは風力や太陽光などの再生可能資源、バイオガスと代替燃料、および石炭、石油、天然ガス、原子力エネルギーを含むすべてのエネルギー産業に関わっています。また水の供給とその品質に関して、世界で最も難しい課題を解決する先進的技術の開発も行っています。パワー&ウォーターには分散型電源、原子力、パワー・ジェネレーション・サービス、再生可能エネルギー、火力発電向け機器、およびウォーター & プロセス・テクノロジーの 6 つの事業部が属しています。パワー&ウォーターはニューヨーク州スケネクタディに本社を置き、GE として最大の産業部門です。

【参考画像】

写真 1 :
横浜火力 7 号系列 ガスタービン交換の様子



写真 2 :
横浜火力 7 号系列 ローター吊り上げの様子



###

＜本件に関するメディアの方からのお問い合わせ先＞

日本 GE 株式会社 PR 事務局（コスモ・ピール内）担当：岩谷・大貫
TEL：03-5561-2915 FAX：03-5561-2912 Email:ge@cosmopr.co.jp